

第5回県立鳥居龍蔵記念博物館展示検討委員会の概要について

生涯学習政策課文化の森振興室

第5回県立鳥居龍蔵記念博物館展示検討委員会の概要について

- 1 日 時 平成21年2月17日(火) 午前10時から午前11時15分まで
- 2 場 所 県立博物館 3階講座室
- 3 参加者 委員4名(欠席2名)
- 4 議事の内容

(1) 鳥居記念博物館移転事業の概要説明

事務局から別紙資料1により、鳥居記念博物館移転事業の経緯や事業費などについて説明。

(2) 展示実施設計の策定状況の説明

事務局及び展示実施設計業務を委託している(株)丹青社から展示の手法や考え方を、パネルにした配置図(別紙資料2)やイメージ図をもとに説明。

(3) 意見等

ア) 事務局等の説明について、委員より次のような意見があった。

- ・新たに見つかった資料を展示に活用してもらいたい。
- ・きみ子夫人の展示をアピールしてもらいたい。
- ・来館者への解説を充実すべきである。
- ・地名の表記は十分に検討すべきである。
- ・城山貝塚など本県での調査の展示は重要である。
- ・厳しい財政状況の中で予算確保に努めていただいたと思う。
- ・2ヶ所に分かれているため、わかりやすい案内表示が必要である。
- ・ロビーの入口部分の形状は十分な検討をお願いしたい。
- ・博士が調査で使用したカメラや蓄音機等のレプリカを作成してはどうか。

イ) 委員長の意見

委員から出された意見を踏まえて、鳥居龍蔵博士の一層の顕彰が図られる展示となるよう十分に検討をお願いしたい。

ウ) 委員の意見等に対する回答

いただいた意見を考慮しながら、県民に愛され、利用される鳥居龍蔵記念博物館となるよう展示設計を進めてまいりたい。

5 今後の予定

今後の開催等については、後日調整のうえ連絡する旨を事務局より報告。

鳥居記念博物館移転事業

鳥居記念博物館移転の経緯

鳥居記念博物館は、徳島県が生んだ人類学・考古学・民族学等の偉大な先駆者である「鳥居龍蔵博士」の業績を、県民あげて顕彰することを目的に徳島県が昭和40年に開館。

【課題】

- ・施設の老朽化が著しく、大規模な地震発生時には収蔵物の毀損が危惧されること
- ・城郭形式の建物であることから、エレベーターの設置やバリアフリー化の改修が非常に困難なこと



【検討】

県が行政改革の検討を行う中で、平成16年度に行われた「公の施設の見直し」において、次のような方向性が決定された。

◆方向性

施設の老朽化が著しく、収蔵物の毀損が危惧されるため、収蔵物を県立博物館において保管することとし、施設の設置場所を文化の森へ移転する。



【鳥居龍蔵博士の顕彰等に関する検討委員会の設置】

平成18年7月から8回にわたり鳥居記念博物館の文化の森への移転に伴う顕彰や展示のあり方等について検討を行い、報告書を取りまとめる。

◆検討結果

- ・展示場所は三館棟2階AVコーナー及びコーヒーショップ跡・サロンを活用
- ・資料収蔵場所は県立博物館の保存処理室1を収蔵庫に改修して活用



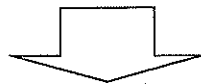
【鳥居龍蔵記念博物館展示検討委員会の設置】

平成20年3月から4回にわたり鳥居記念博物館の文化の森への移転に伴う、展示内容や展示手法等の検討を行い、展示計画書を取りまとめる。



【鳥居記念博物館移転事業】

平成20年度において、収蔵庫設置のための改修工事及び展示の実施設計業務を実施(策定中)し、移転に向けて事業を進めている。



鳥居記念博物館移転事業

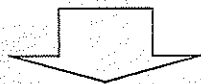
■平成20年度(当初予算)

①収蔵庫改修工事	26,200千円
②展示実施設計業務	9,600千円

■平成21年度(当初予算)

①展示室改修工事	62,384千円
②展示工事	93,600千円

【債務負担行為 ～H22 42,000千円】



リニューアル開館

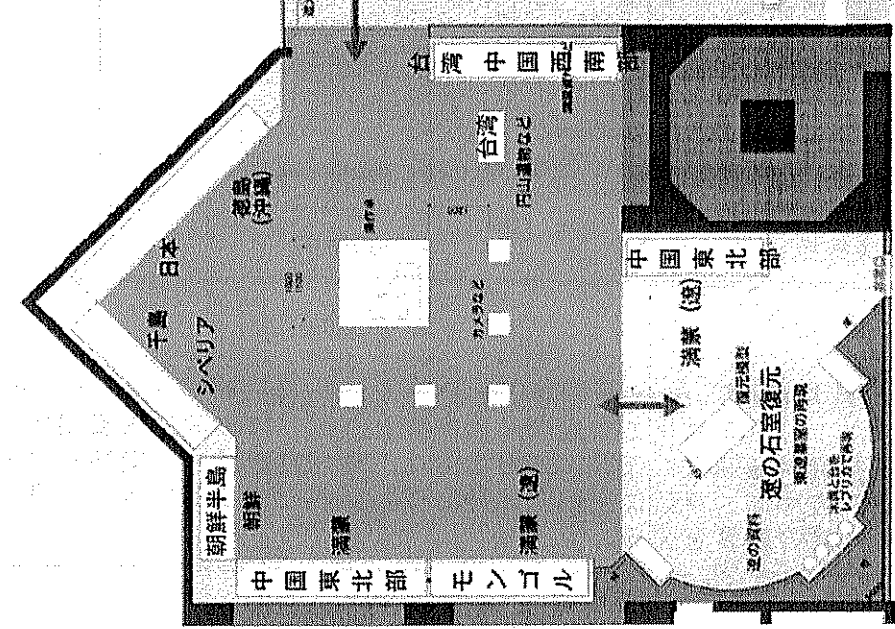
- 平成22年11月3日文化の森総合公園開園20周年年度の開館を目指す—
- 貴重な資料を適切に保管するとともに、鳥居龍蔵博士の業績をより多くの県民の方々に、身近に快適な環境でご覧いただくことにより、鳥居龍蔵博士の一層の顕彰を図る。

13500

13500

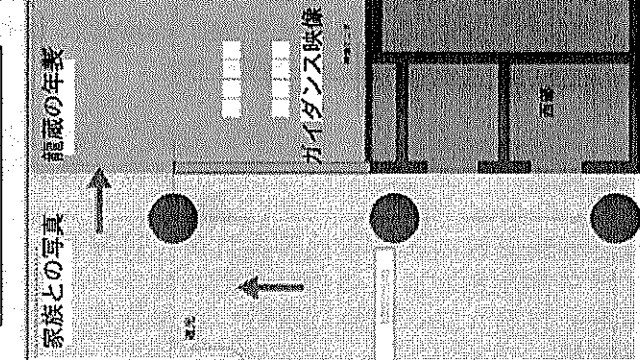
13500

1 鳥居龍蔵の見たアジア



台湾での聴取調査写真

2 鳥居龍蔵の生涯



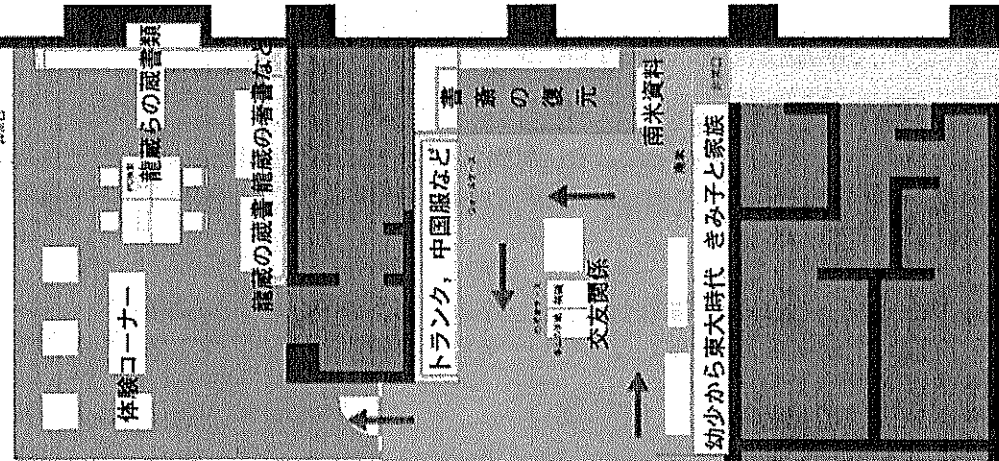
家族との写真

龍蔵の年表

ガイダンス映像

南米資料

3 鳥居龍蔵から学ぶもの



体験コーナー

龍蔵らの証書類

龍蔵の蔵書 龍蔵の香書など

トランク、中国服など

書斎の復元

交友関係

幼少から東大時代 きみ子と家族

S=1/100(A3)